

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		国民健康保険資格管理事務		担当課	保険年金課	担当係	国保給付係	管理番号	3118	
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり	根拠法令 個別計画等	国民健康保険法					
	小項目	3	行財政運営の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		健康保険の資格喪失者、転入者等からの届出により、国民健康保険の被保険者資格の取得事務を行い、健康保険の資格取得者や転出者等からの届出により国民健康保険の被保険者資格の喪失事務を行う。また、国民健康保険被保険者の資格を管理し、取得したものに被保険者証を交付する。被保険者証更新時には送付する。								
目的 ※何のために		国民健康保険事業の適正な運営のため								
対象 ※誰・何を対象に		国民健康保険被保険者、健康保険の資格喪失者								
手段 ※どのように		国民健康保険被保険者や健康保険の資格喪失者からの届出、申請を窓口で受理する。								
成果 ※何を求めるか		国民健康保険被保険者の資格の取得、喪失を誤りなく行うことにより、国民健康保険資格が適正となる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		特別会計	1	総務費	1	総務管理費	1	一般管理費	資格管理経費	11,676,415
本事業の 主な業務		・被保険者証再交付					・			
		・被保険者証の交付(資格得喪)					・			
		・被保険者証の一斉更新(封入処理)					・			
		・被保険者証交付(送付)					・			
		・被保険者証の単独得喪					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		国民健康保険被保険者資格管理	国民健康保険被保険者資格管理	国民健康保険被保険者資格管理、保険証の一体化及びオンライン資格確認にかかるシステム改修	国民健康保険被保険者資格管理、保険証の一体化開始、オンライン資格確認にかかるシステム改修	国民健康保険被保険者資格管理、オンライン資格確認運用開始	国民健康保険被保険者資格管理
事業費	予算(現額)	9,522,000	9,324,000	13,392,000	15,822,000	12,852,000	9,838,000
	決算額	8,683,612	8,516,172	13,365,632	15,206,906	11,676,415	0
	財源内訳	国支出金	0	0	4,719,000	2,680,247	0
		県支出金	0	7,177,060	8,858,664	6,908,497	8,006,000
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	2,557,000	1,339,112	1,629,242	2,087,671	1,832,000
	一般財源	6,126,612	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数(人)	1.70	1.55	1.98	2.50	1.65	1.75
	人件費相当試算※	13,224,300	12,062,100	16,007,375	20,340,000	12,807,160	14,229,859
総事業費試算		21,907,912	20,578,272	29,373,007	35,546,906	24,483,575	24,067,859

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	被保険者資格の取得者数		目標値	人						
			実績値		6165	5959	6046	5970	5503	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		資格取得者数の把握が困難なため目標値コントロール不可 / 該当年度の取得者数							
	実績値の算出式									
活動指標 2	被保険者資格の喪失者数		目標値	人						
			実績値		7957	7637	7144	6453	6656	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		資格喪失者数の把握が困難なため目標値コントロール不可 / 該当年度の喪失者数							
	実績値の算出式									
活動指標 3	被保険者証送付数		目標値	件						
			実績値		21930	21524	21003	20876	20785	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		被保険者数の把握が困難なため目標値コントロール不可 / 被保険者証の一斉更新送付数							
	実績値の算出式									
成果指標 1	誤りの苦情の件数		目標値	件	0	0	0	0	0	0
			実績値		0	0	0	0	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値は、0件とする / 業務安定システム事務処理対応表							
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	被保険者資格の取得者数は減少し、喪失者数は増加傾向で推移している。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	誤り苦情件数は、0件とすることができた。
			評価者 国保給付係長 清水 正史

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	資格取得者の人数が減少するなか、オンライン資格確認が令和3年10月から本格稼働した。マイナンバーカードに保険証機能の付加を推進することで、被保険者証の発行事務等の軽減を図ることができるため（保険証利用が進むことにより、事務の効率化が図れるため）、11月から令和4年3月までの5か月間専用窓口を設け保険証機能付加の支援を行った。
			評価者 国保給付係長 清水 正史

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	国民健康保険資格管理事務	担当課	保険年金課	担当係	国保給付係	管理番号	3118
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		被保険者数は減少傾向にあるが、一斉更新事務も円滑に実施できているため、現状のまま継続する。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	保険年金課長 田村 恵				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

